

# 第42回岡山戦災の記録と写真展 — 復興期岡山の人々 —



戦災都市岡山に行幸した昭和天皇を歓迎場に迎える人々  
1947年(昭和22)12月9日 佐藤一章 作

2019

**5月31日(金) — 6月30日(日)**

会場 岡山シティミュージアム 4階展示室・5階岡山空襲展示室  
開館時間 午前10時～午後6時 \*入館は午後5時30分まで  
休館日 月曜日(6月3日、10日、17日、24日)

入場  
無料

主催 岡山市 共催 岡山市教育委員会 後援 岡山県教育委員会  
協力 岡山市立中央図書館 岡山県立博物館

EXHIBITION  
ROOM OF  
THE  
OKAYAMA  
AIR RAIDS

岡山空襲展示室

Exhibition  
for peace

岡山県立博物館 特別陳列 7月17日(水)～8月25日(日)  
「平和の尊さを見つめなおす - 子どもたちのくらしから -」  
岡山空襲展示室と岡山県立博物館は、ともに平和について考える展覧会を開催  
します。

15年も続いた戦争がやっと終わったとき、岡山のまちはどのような様子だったのでしょうか。多くの人の記憶にある風景は岡山駅から数km離れた山まで、ぽつん、ぽつんと立つ鉄筋コンクリートのビル以外には何もない焼野原だったようです。

しかし、岡山空襲の直後から、多くの人々が岡山の復興のために働きました。そして困難な生活の中でありながら、平和な世の中が来たことを心の底から嬉しく思った人々もいました。戦争中はかなわなかった自由な表現が許されるようになり、時間や資源を使って堂々と文化を楽しむこともできるようになりました。

1948年(昭和23)ごろまでに岡山市の復興都市計画の基本構想が検討され、またこの年初めて地方開催として、岡山に誘致された日展には23万人もの人が押しかけたと言われます。こうした美術展を始め、様々な文化活動も活発に行われました。終戦直後から始まった岡山の人々の動きをご紹介します。



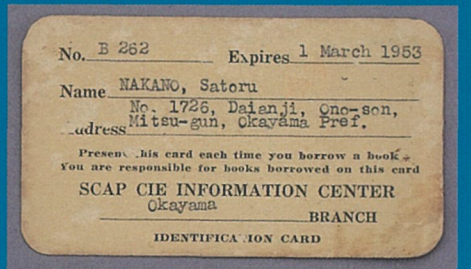
自宅の焼跡に立つ男性  
1945年(昭和20) 緑川洋一 撮影  
緑川洋一記念室所蔵 (株)山陽新聞社協力



「セントラル付近の早店」1945年(昭和20)11月 佐藤一章 作 岡山市立中央図書館所蔵・画像提供



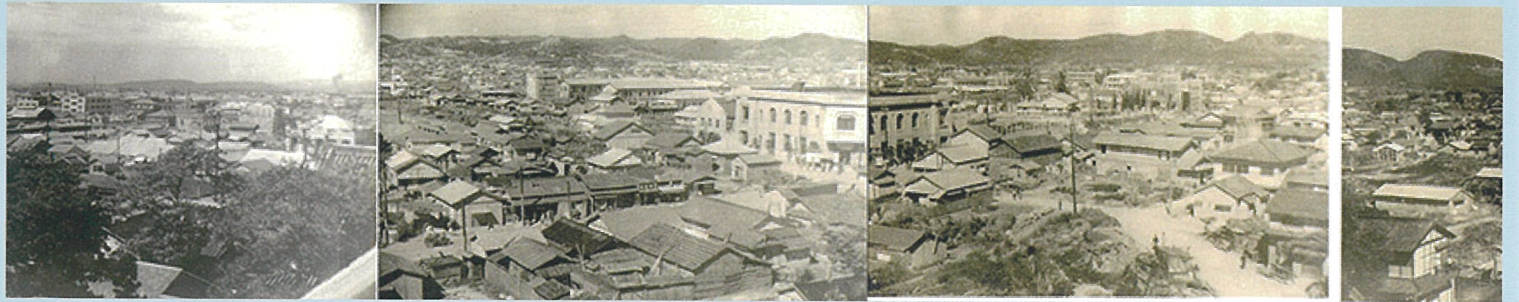
焼野原に建つ天満屋本店 1945年(昭和20)10月  
吉田堅 撮影



戦後岡山に作られたCIE図書館の貸出カード

## 岡山空襲について

1944年(昭和19)から翌年にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年(昭和20)6月29日に大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人\*の死者が出ました。(\*2000人をはるかに超えるという説もあります。)



旧内山下小学校屋上より撮影された1947年(昭和22)10月頃の岡山市街地 佐藤重夫 撮影 古川修文 画像提供 個人所蔵

## 記念講演会

日時 令和元年6月15日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 岡山シティミュージアム 4階講義室

定員 80名(先着順)

演題 「佐藤重夫のみつめた岡山」 講師 古川修文 日本民俗建築学会評議員

演題 「岡山市の復興計画」 講師 飯島章仁 岡山市立中央図書館 学芸副専門監

## 展示解説

会期中の土・日の午後2時から展示室内で岡山空襲展示室の学芸員による展示解説を行います(約1時間)。

ただし、6月15日は午前11時から行います。

## 昭和のくらし展示(4階ロビー)

4階ロビーにて、足踏みミシン・石臼などの展示のほか、体験もできます。

(市民ボランティアが滞在しているときに限ります。)



岡山市北区駅元町15-1  
岡山シティミュージアム  
TEL 086-898-3000  
岡山空襲展示室  
TEL 086-253-7070  
JR岡山駅から東西連絡通路で直結